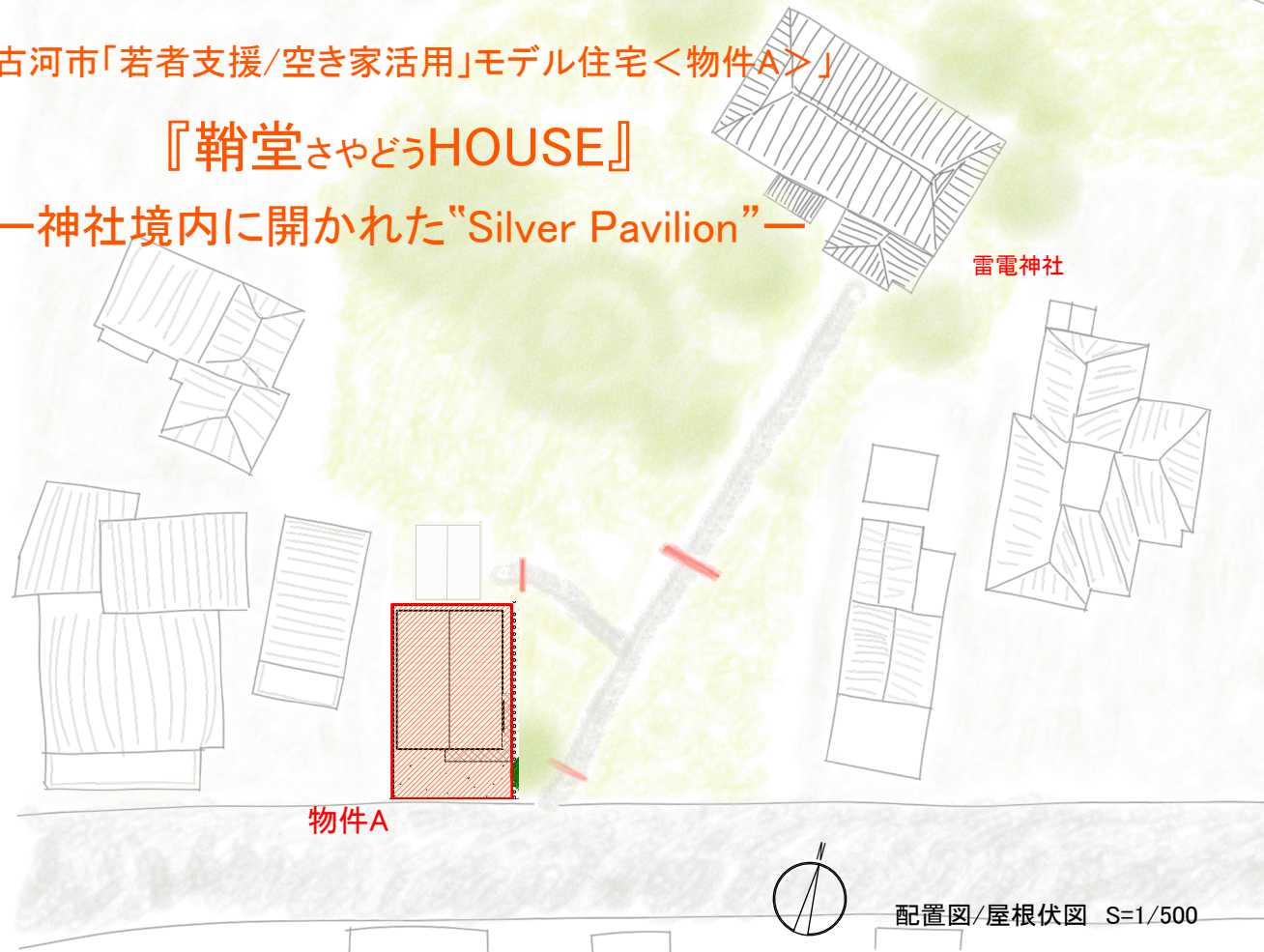


古河市「若者支援/空き家活用」モデル住宅<物件A>

『鞆堂さやどうHOUSE』

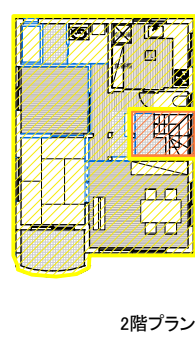
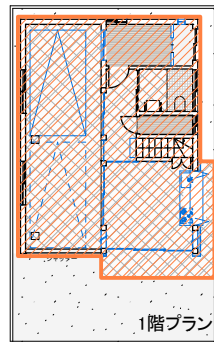
— 神社境内に開かれた“Silver Pavilion” —



公私を分ける明快なプラン

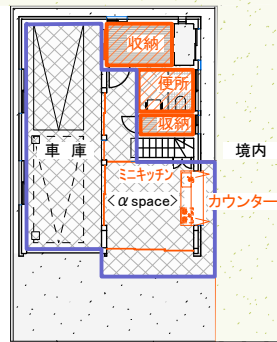
上下階をつかって暮らすことが想定されていた既存プランに対し、プライベートとパブリックを上下階でわけた計画とすることで生活の利便性を高めつつ、街へ開くことができるようなプランとしています。

- プライベートエリア
- パブリックエリア



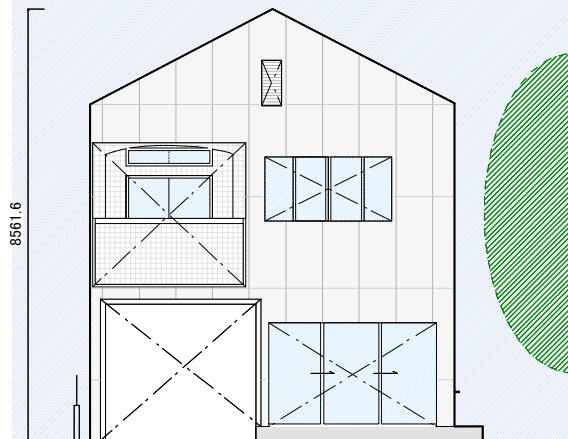
多目的利用を可能にする一階の設え

敷地北から東にかけて広がる境内と、一階に大きくスペースをとった車庫もふくめて活動が行えるよう一階部分は土間とし、建具等を設けて周囲と連続するように計画しています。また、大きな収納、トイレ、ミニキッチン等を設け、多様な活動を支えます。

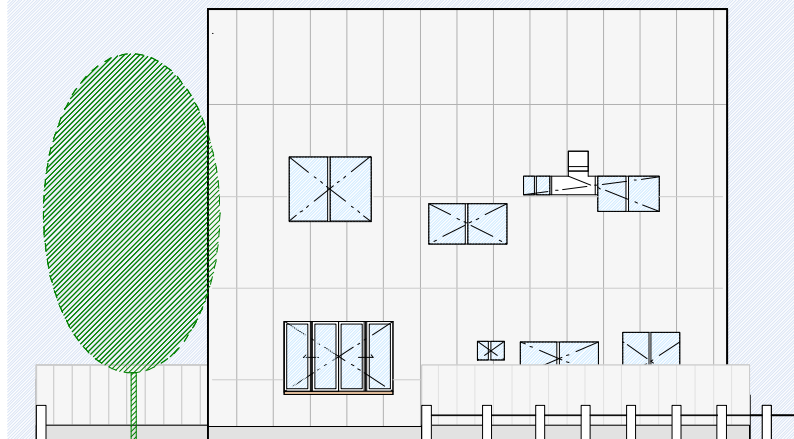


神社境内と隣接する端正な立面

<物件A>住宅/敷地は、表通りと雷電神社境内に接した「開放的なランドスケープ」をもっています。したがって建物は「ランドマークとしての役割を意識したリフォーム; silver pavilion」として提案します。それは金属板で覆われた「積み木の家」です。



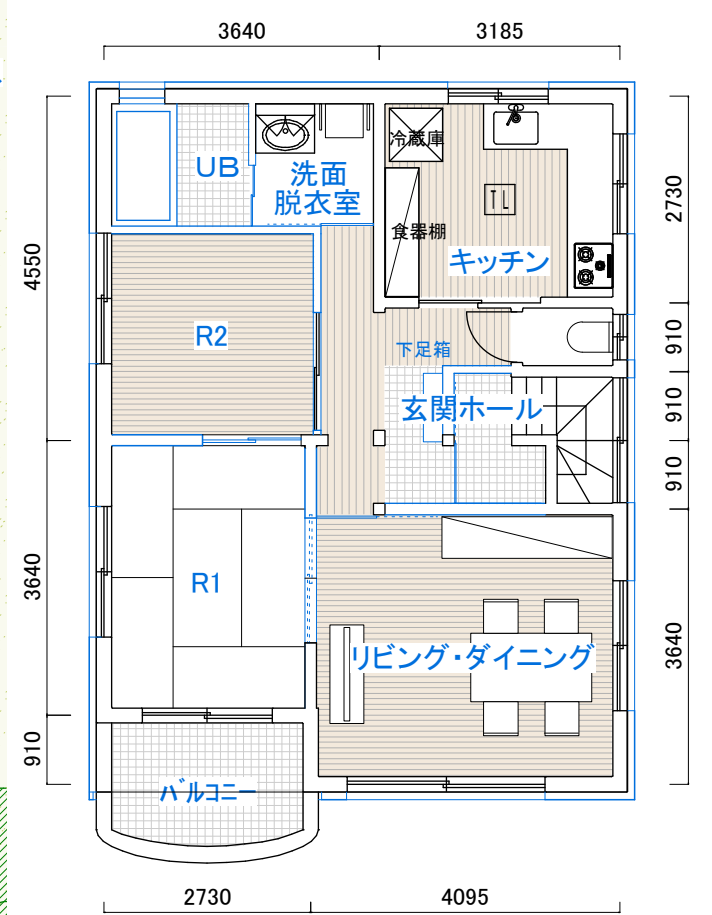
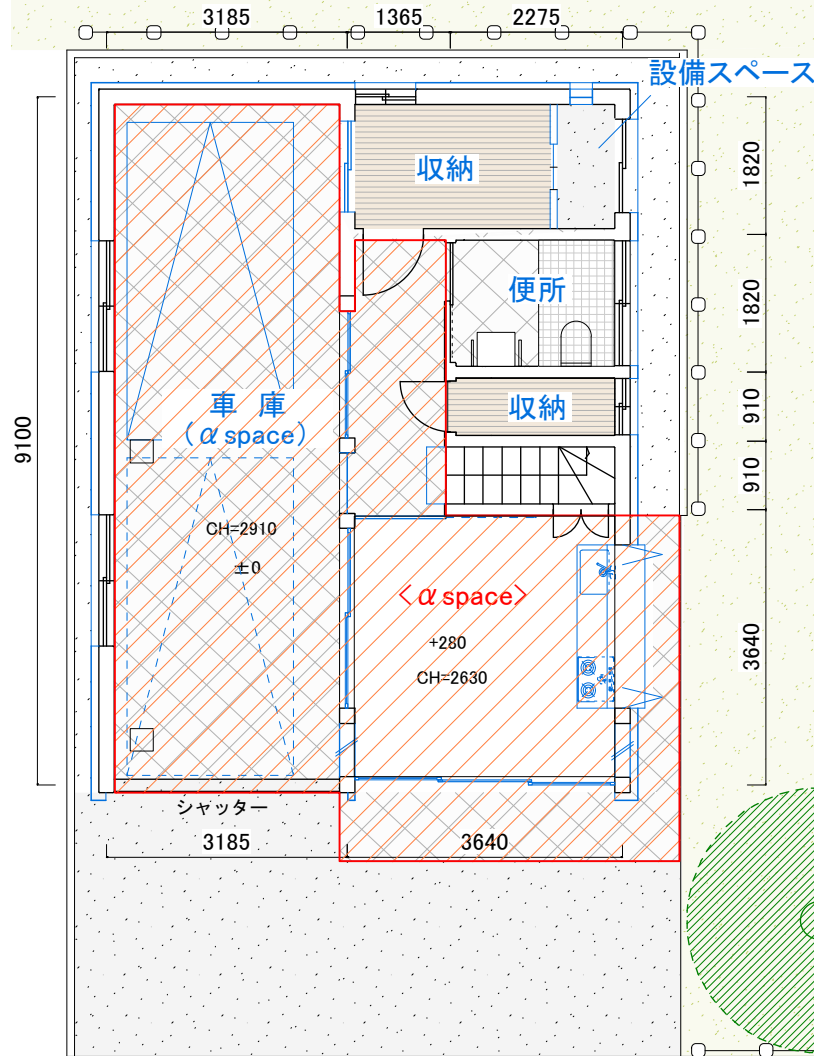
南側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

神社境内に隣接し、「まちに開く」

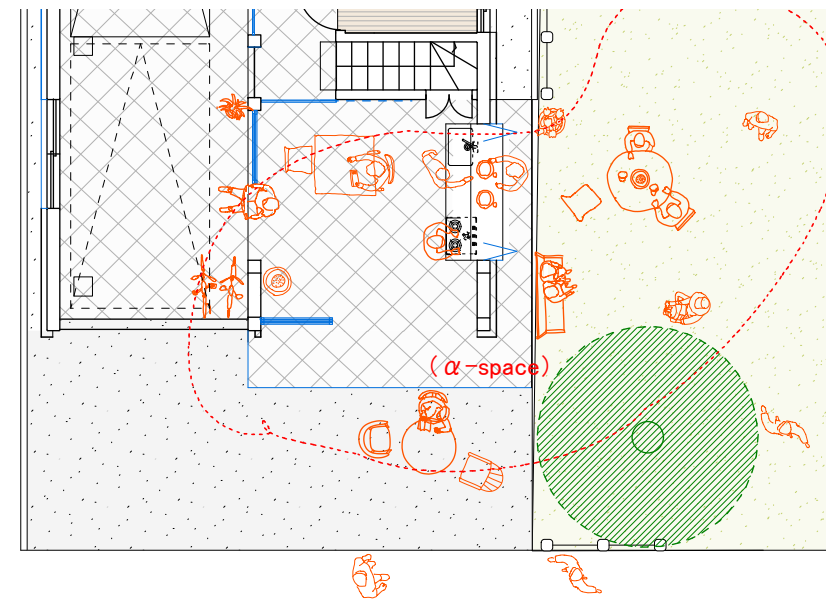
若者夫婦の生活機能を2階にコンパクトにまとめ、1階を多様な『住み開き』のためのニュートラルでフレキシブルな土間空間としてリフォームします。この家は、広い神社境内(安心な子供の遊び場)とともに、地域子育てのニューヒーローとしてデビューします。



1, 2階平面図 S=1/100

「境内」に開かれたαスペース

敷地に隣接する雷電神社の境内は地域の人々によって催しがおこなわれたりする地域の大切な場所です。地域の宝である神社の境内と積極的に関係性をつくることで住まい手の「住み開き」活動を支えます。カフェを運営していると道や境内を歩いている人の目につき活動が周囲へと広がっていきます。



α space 平面図 S=1/120



前面道路より見る

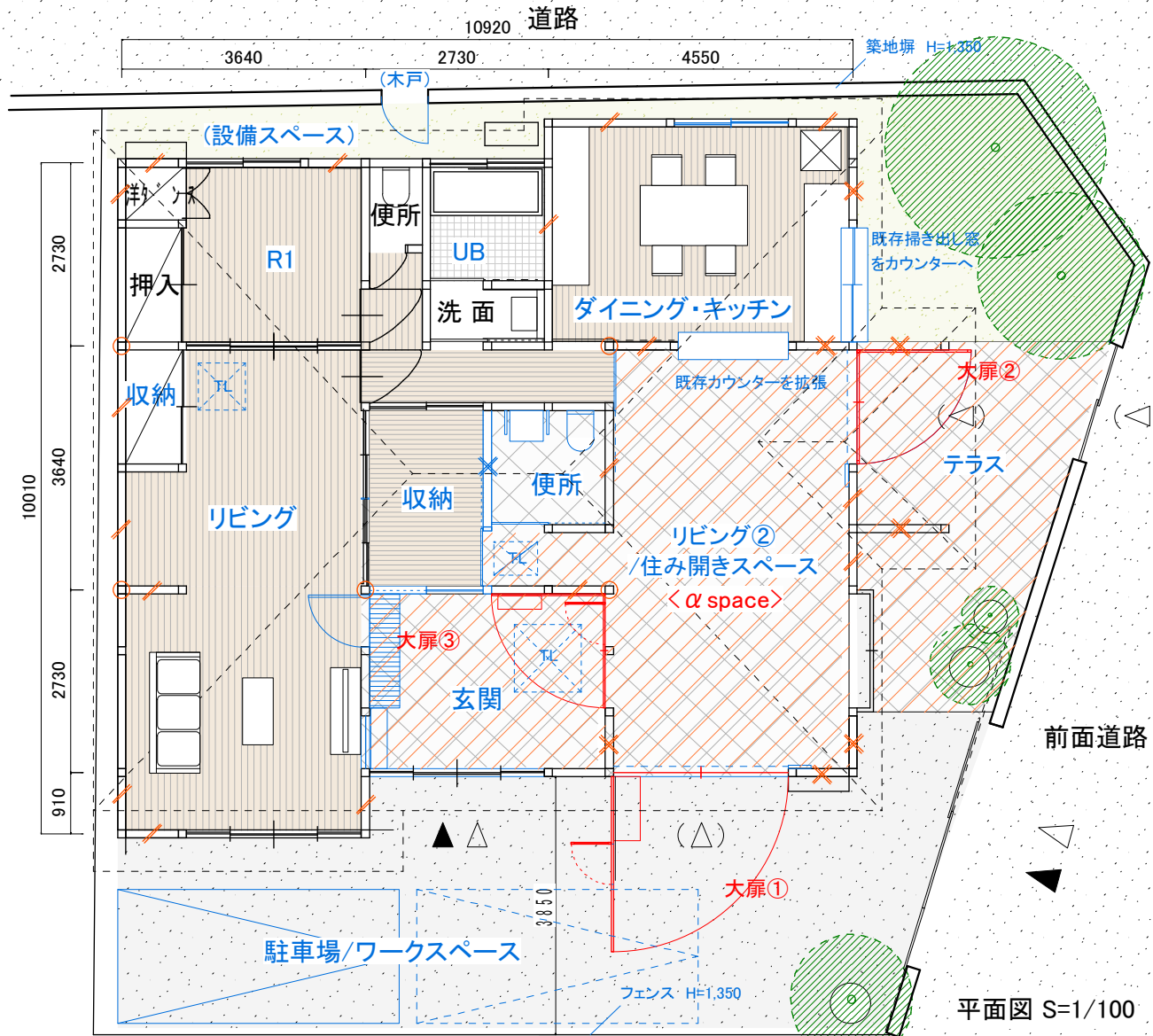
諸元表

敷地面積	109.07㎡
地域・地区	第一種住居地域(60%/200%)
その他	法22条区域
用途	専用住宅
構造規模	木造2階建
床面積	108.24㎡
(α-space面積)	52.50㎡

古河市「若者支援/空き家活用」モデル住宅<物件B>

『土壁/築地塀のHOUSE』

—住宅地に開かれた「 α -space:『土間』—



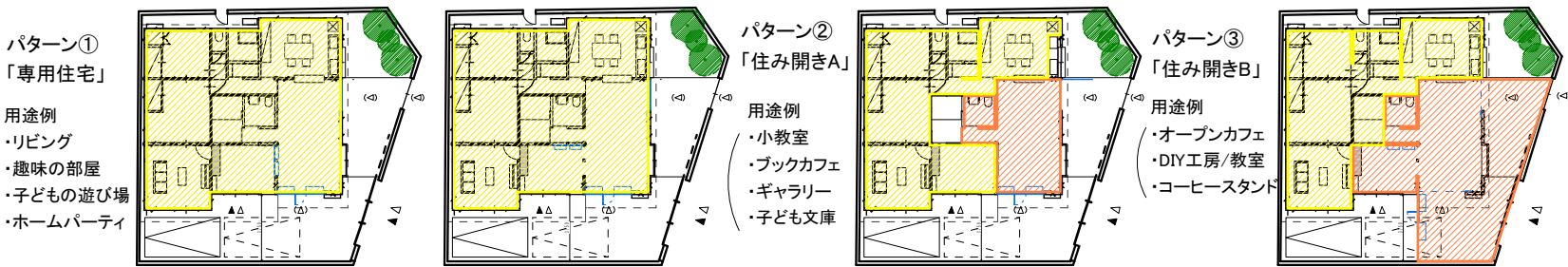
× 両筋交い
/ 片筋交い

土間と板の間の暮らし

既存リビングを「ユニバーサルな『土間空間』として改修し、α-space:『日常の趣味的活動の場所として、新しいライフスタイルの実現』をサポートします。同時にそこは、『地域への『住み開き』の場』として、多様な地域交流の場としても活用できるはず。新しい住宅の中に、『土間と板の間』を持つことにより、『家族生活/地域での暮らしが両立する新しい可能性』が開けます。またα-space>は、『3つの『大扉』で玄関や外部テラスに大きく開き、内外にわたる一体的な活動を可能にします。落ち着いた土間に囲まれ安全なα-space>は、地域の新しく賑やかな『居場所』です。

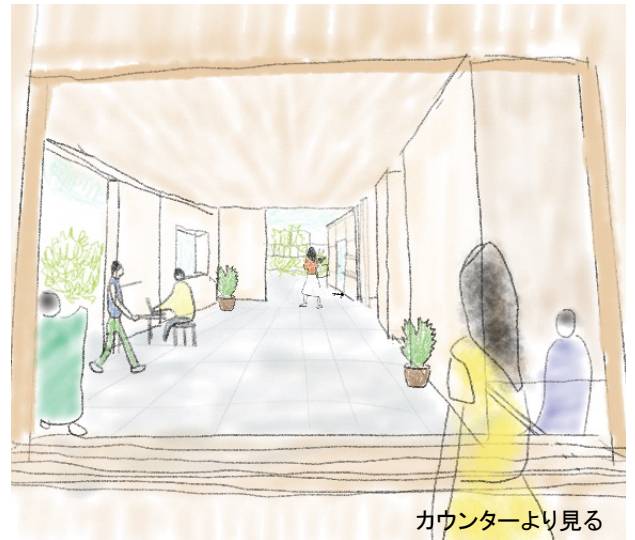
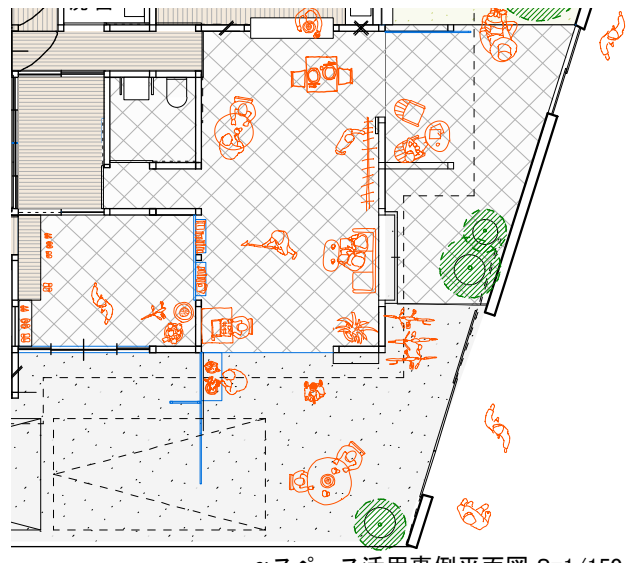
住み手の生活に応答する開閉式建具のプラン

多様な暮らし方を許容するため、開閉式の建具を設けています。これらの開閉パターンによりプライベートとパブリックが柔軟に切り替わる平面計画としています。



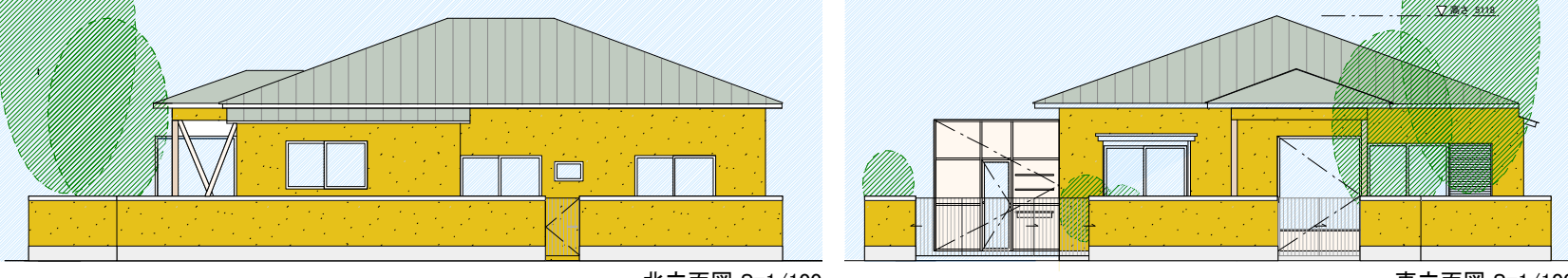
『大扉』で α スペース(土間)を地域に開く

『大扉』を開くことで α スペース(土間)が拡張し、外部空間と共に使うことができます。カフェを運営している傍らで子供が三輪車で家内を横断したり、大扉の柵で植木鉢を物色したりと多様な人々を巻き込むような風景を作り出します。『大扉』は土間を街に大きく開くとともに通りからもよく見えるシンボルとなることで住み手の『住み開き』の活動を大きく支えます。



周辺環境になじむ土壁の平屋

敷地および建物面積が大きい物件Bは耐震的安全性向上のため「2階部分を除却するリフォーム:『減築』」を提案します。若者夫婦にとって、ハウスキープの負担が少なく、十分な生活機能を満足させることが可能であると考えます。



諸元表

敷地面積	219.29㎡
地域・地区	第一種中高層住居専用地域(60%/200%)
その他	法22条区域
用途	専用住宅
構造規模	木造平屋建
床面積	115.34㎡
(α -space面積) 48.26㎡	

α スペース活用事例平面図 S=1/150